

理研会報

平成24年 3月18日

NO.355

県教研参加報告

第61次千葉県教育研究集会

(理科教育分科会・小学校)参加報告

佐倉市立間野台小学校 飯田和成

1部会理科研究部の研究主題「思考し、表現する力を育む理科学習のあり方～結果の整理からまとめの段階を大事にした学習の考察～」について、2つの研究仮説を立て、6年「植物の道の通り道」、4年「とじこめた空気や水」の学習を通して仮説の検証授業を行いました。発表の概要は次の通りです。

6年「植物の水の通り道」では、単元の初めに植物の水の通り道はどうなっているか予想、ハウセンカによる水の吸い上げ実験、ハウセンカ以外の植物による水の吸い上げ実験の3場面で個別やグループ別に話し合いの場を設け、自分の考えを見直し、深めるようにしました。また、話し合いの際に、ホワイトボードを活用したり、キーワードを提示したりし、児童が自分やグループの考えを整理できるようにしたことを提案しました。4年「とじこめた空気や水」では、実験結果の整理や考察の場面に重点を置いた指導を行い、思考の補助となるワークシートやホワイトボードの活用方法を、児童の書き表した記録をもとに提案しました。共同研究者からは、表現活動の中でのホワイトボードの活用の仕方の検討。個の変容・集団の変容がわかる基準の設定。

思考し、表現する児童の姿の評価の検討。イメージ図及びノートの活用の4点についてご指導を頂きました。

今回、このように県教研で勉強させて頂くことができたのも印教研理科研究部会員の皆様をはじめとする諸先生方のおかげと感謝しております。今年度、来年度で実践を積み、まとめられるよう努めたいと思います。ありがとうございました。

第61次千葉県教育研究集会

(理科教育分科会・中学校)参加報告

佐倉市立白井南中学校 谷野 研

昨年11月5～6日の2日間、県教研に参加させていただき、ありがとうございました。1部会理科研究部で研究した「気づき、思考し、表現する力を育む理科学習～自分の考えを明らかにする活動を通して～」については「討議の柱2：探究・思考過程を大切にした指導を」の中で発表をしてきました。内容は表現力を高める工夫(「見える化」・実験レポート作成マニュアル「虎の巻」・三つの視点からとらえた指導計画)とその授業実践です。

共同研究者からは

- ・ 空中戦を地上戦にすることで子どもたちによく考えさせているのが伝わってくる。
- ・ 積み重ねの中で要領を捉え、子どもが手順を分かっているのがよくわかります。
- ・ 今回のホワイトボードは手軽にいろいろなことができるのが良い。
- ・ 適切なテーマ設定を今後も検討して欲しい。
- ・ 話し合うだけでなく、最終的に事実を確認する時間帯も大切にしたい。
- ・ 1回1回の実験や自由研究など折に触れて「虎の巻」をふれていくことで思考力が高まっていく。
- ・ 最後に文章で表すことが重要である。虎の巻を使用することで、レポートの相互評価では、子どもたちの中から「根拠」を判断基準としていてよかった。
- ・ 小学校の国語などでも言語活動を大切にしたい取り組みを行っている。他教科の実践も研究して欲しい。

などのご指導をいただきました。

最後に、本発表にあたり、印教研理科研究部の皆様の様々なご指導、ご助言のおかげで本研究会に参加することができました。ありがとうございました。今後の授業、研究活動に生かしていきたいと考えます。

県教研に参加された4名の先生方には、お忙しい中、寄稿していただき誠に有り難うございました。会員の皆様におかれましては、今後の研究活動に少しでも役立てていただければ幸いです。